

# 令和4年度 生産性向上支援訓練利用者の声

作成日：令和 4 年 8 月 4 日

施設名：鹿児島職業能力開発促進センター

1 基本情報	
事業主名	阪東機工株式会社
事業所所在地	鹿児島県鹿児島市東開町3番地67
事業内容	工場設備、建設設備に関わる製品の販売（法人向け/商社）
従業員数	104名
コース番号	22-46-12-119-022（DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進）
訓練実施時期	令和4年7月21日
2 事業主の声（会社概要、訓練を利用した経緯・動機、訓練を利用した感想、訓練の内容はどのように職場で活用されているか、今後の抱負等）	
<p>従業員が100人規模の機械工具の商社で、主な顧客は鹿児島県と宮崎県の製造業の会社です。当社は、顧客の潜在的なニーズを引き出し、提案する営業スタイルをモットーとしており、これらを実現するためにリーダー研修や営業スキル研修などの社員の教育・訓練に力を入れています。コロナ以前は、県外の研修施設の研修に派遣していましたが、生産性向上支援訓練は、カリキュラム内容、講師が充実しており、前述の県外に社員を派遣しなくても良質な研修を受講できると考えています。</p> <p>以前より、生産性向上を図るため、システムの見直しや導入を実施し、IT化・デジタル化に積極的に着手しているところです。産業構造の変化に対応していくためにも、これまで取り組んできた手法とは違った進め方について学びたく、今回DX（デジタルトランスフォーメーション）に関する研修を受講させました。DXは業種や規模によって目的や導入方法が異なりますが、生産性向上支援訓練の研修内容を参考とし、受注から納品までの業務をデジタル化する等、当社に取り入れることが容易なものからスモールスタートで導入していきたいと思えます。</p>	
3 受講者の声（訓練を受講した感想、訓練で習得したことをどのように業務に活用しているか、今後どのように活用していきたいか等）	
<ul style="list-style-type: none"><li>・会社の規模や業種、現在のITレベルに合わせたDXの取り組み方があると感じました。</li><li>・研修内容（テキスト）はとても分かりやすく内容も整理されていました。</li><li>・今回の研修で学んだ内容で当社の取り組んでいること、これから取り組みたいことが明確になりました。</li><li>・異業種の参加者と意見交換ができたことは有意義でした。</li><li>・現在のDXのトレンドを理解し、我が社にあった取り組みができるように継続して学び続けます。</li></ul> <p style="text-align: center;">（オーダーコースの受講風景）</p>	
	